

## カナリア諸島の九条の碑

山口 洋司

アフリカの西にあるカナリア諸島、その中心グランカナリア島に憲法9条の碑がある。

どうしてこんなところに9条が一。知人で構成作家の疋田哲夫さんが2014年夫婦で世界一周の船旅に出掛けたときその碑に遭遇したのです。

疋田さんは「11PM」や「夜はクネクネ」など人気番組に構成作家として携わってき、構成作家というジャンルを開拓した第一人者です。構成作家集団からなる「オフィス自由本舗」を主宰し、その機関紙『自由本報』に航海記を書いています。

9条の碑は島のテルデ市の「HIROSHIMA・NAGASAKI」広場の一角にあり、9条条文はスペイン語で書かれ、平和という漢字も大きく書かれていたそうです。

テルデ市は国のNATO加盟に異議をととなえ市議会は非核地帯を宣言。非核、平和を求める市民の間で日本の平和憲法が話題になり、市長が日本領事館の協力を得て与野党満場一致で実現したとのことです。

タイル張りで高さ3メートル、幅2メートルの碑が出来上がったとき市民、市長、議員、在留邦人らが集まり、除幕式のあと全員ベートーベンの第九「歓喜の歌」を合唱したと言います。さぞ感動的な場面だと想像されます。その後の広場の改修作業の式典でもテルデ市の市長は9条を持つ日本に敬意を表す、と挨拶し、称えます。

疋田さんは地元の人たちと交流を重ねます。

この島に住んで42年、日本料理店を経営していた邦人の方が密かに疋田さんに心のうちを打ち明けます。「この島の人々は70年近く憲法で定めた平和を維持してきた日本国民を心から尊敬してくれているんですよ。それなのに今、日本国内では政府が先頭に立って平和憲法を改悪しようと躍起になっているんでしょー。そんな現状を恥ずかしくて彼等に言えませんよ！」。疋田さんも複雑な気持ちになります。

憲法9条は世界の宝なんです。ずっと前に疋田さんから届いた『自由本報』、テルデ市のいい話、ずっとぼくのこころに残っていました。

この時より、憲法9条はさらに痛め付けられています。集団的自衛権を容認し、さらに今まさに岸田首相は、殺傷能力のある武器、次期戦闘機の輸出をゴリ押ししました。歯止めをかけるから問題ない、と言います。この件だけに限定する、とも言います。このご都合主義、誰が信用しますか。

このていたらく、日本に畏敬の念をもっているテルデ市に弁明のしようもありません。

